

## 徹底分析 令和8年度の 高校入試結果



京葉工業地域



いすみ鉄道の菜の花列車



成田国際空港 北ウイング

今年度は、  
日本の各都道府県の特徴を紹介しています。  
関東地方『千葉県』

面積：5,156km<sup>2</sup>  
人口：625万人  
(人口密度) (1,212人/km<sup>2</sup>)  
県庁所在地：千葉  
主な生産物：落花生、しょうゆ、日本なし、うちわ



### CONTENTS

徹底分析 令和8年度の高校入試結果	2	高校入試ピックアップ	14
小学生のページ	12	ぞつがくパラダイス	15
ガクシンニュース	13	信学会からのお知らせ	16

### 学びの窓

今号は今春の高校入試結果分析号。個々の高校について、この3年間の数値を示しながら、今春の入試はどのような形で行われたのか等を紹介しています。志望校の動向を確認し、来春の入試に備えましょう▼今春入試の大きな特徴を紹介すれば、前号の小欄でも指摘しましたが、まずは「私立高校人気」があります。私立高校は分かりやすい特色を掲げていることと、私立高校授業料の無償化がその背景にあります。今までは、私立高校は授業料が高い、ということと、せっかく合格しても、私立高校には行かずに公立高校に進学した人も少なからずいました。それが授業料という「垣根」がなくなることから、私立高校への進学者が多くなったと考えられます▼私立高校人気のもう一つに、前述したように、その分かりやすい特色があります。大学進学に力を入れている高校、スポーツをやるならこの高校、中学時代に不登校傾向だった人もしつかり支援してくれる高校等、様々な特色を皆さんにストリートに届くようにしています▼一方、私立高校人気のため、今春入試での公立高校充足率(募集定員に対する入学者の割合)は大きく下がりました。このような状況から公立高校も各校の特色を分かりやすく、受験生に届くような工夫をしています。「文理の枠を超えた『グローバルな学び』(長野高校)、「技術力・実践力・人間力を育てる」(長野工業高校)等です▼高校進学に向けて、まずは志望高校の研究をしましょう。授業内容や高校卒業後の進路など。じっくり各校のホームページを調べて、自分の志望高校を探していきましょう。

徹底分析

令和8年度の

# 高校入試結果

第1通

## 1~4区後期不合格者は全体で過去最少の63人

二桁の不合格者は長野吉田と長野西のみ

### 1区 後期不合格者は3年続けての0人 第一志望には前期から積極的に挑戦

厳しい少子化と、区外への流出率が増え、2校の全学科で再募集を実施。その数もこの10年では最多となる84人。最終的に全学科が欠員でのスタートとなった。

このうち、「飯山」は大学進学を目指す受験生が多く志願する探究科が、最終的に32人の欠員。地元に残り、大学進学を目指すのであれば、積極的にチャレンジしたい。県下唯一のスポーツ科学科は、前期から積極的にチャレンジし、夢に向かってチャレンジしていきたい。

もう一方の「下高井農林」は27人の再募集を実施した。

### 2区 後期不合格者は須坂6人、創成5人のみ 他の3校は二桁の再募集を実施

中学校卒業者が昨年より15人の減。合わせて、毎年3区を始めとする区外への流出者が多いのが2区の特徴。このため、後期選抜での不合格者は5校中3校は0人。また、再募集は5校中4校で実施し、前年より15人多い93人に達した。

最も多くの不合格者を出したのが「須坂」。この2年間、後期選抜での不合格者は0人だったが、今回は2区では最多の6人の不合格者を出した。

後期選抜でもう1校、不合格者を出したのが「須坂創成」の農業科で不合格者は5人だった（1人は第2志望の他学科に合格）。このほか、県立高校では北信で唯一の総合学科を持つ「中野立志館」は23人の再募集を実施。「中野西」は前期選抜での志願者が大幅に減少。後期選抜も集まらず11人の再募集を実施。「須坂東」の人気はいまひとつ。前期も募集人員に達しなかった。

### 3区 後期不合格者は前年の半数以下の51人 長野西が最多の18人、次が吉田の16人

毎年、厳しい入試が行われているが、後期選抜での不合格者は前年の107人から51人に大幅に減少。私立高校が実質無償化になったこともあり、私立高校進学者が増えたためと考えられる。

前期選抜で、最も多くの不合格者を出したのが「長野商業」で61人。前年も81人の不合格者を出しており、これで3年連続で3区での最多不合格者を出している状況。また、「長野工

業」の建築学科は北信で唯一実質倍率が2倍を超えている。このほか、「長野東」と「市立長野」も実質倍率は高く、二桁の前期選抜不合格者を出している。

一方で、前年より大きく減少した後期選抜の不合格者。「長野西」の18人が最多で、次に「長野吉田」の16人が続く。このほか、人気校の「長野」は昨年の28人が、今年は8人と、大きく減少。「長野商業」1人、「市立長野」2人、「長野工業」は学科により差はあるが、計6人の不合格者を出す。「長野東」は定員ちょうどの受検者数で全員が合格した。

全体的に見ると、後期選抜での不合格者は減少したが、長野市内の高校は、一様に人気は高かったといえる。

一方で、周辺の「北部」「長野西中条校」「篠ノ井犀峽校」はいずれも二桁の再募集を実施する。3校とも人気は低くなっているが、独自の少人数教育を実施しているのも事実。少人数での指導を求めている受験生は、一考の余地がある。

### 4区 大きく減少した後期不合格者と、増加した再募集 後期不合格者は1人、再募集は最多の138人

高校の募集定員は、その年の中学卒業者の増減に合わせて設定されている。今春の4区における中学卒業者は前年比44人の減。最低でも1学級減になるところを、定員に変更はなし。その結果、後期選抜での不合格者は1人。さらに定員に達しなかったことから再募集をした人数は138人。かつてない多さになった。

後期選抜で唯一の不合格者となったのは「屋代」の1人で、これも定員内不合格。同校の基準に合わず、やむを得ず不合格を出した形。同校は結果的に4人の再募集を行った。

他の高校はいずれも再募集を実施した。昨年、後期選抜で6人の不合格者を出した「長野南」は16人の再募集を実施。人気校の「篠ノ井」も2人の再募集。昨年8人の不合格者を出した「更級農業」も9人の再募集を行った。

残る「松代」「屋代南」「坂城」は二桁の再募集になった。前期選抜の段階から倍率・不合格者数ともに大きく減少しているのが実状。このような状況から、来春は若干、厳しい募集定員になる可能性もあるので、気を引き締める必要があるようだ。

皆さんの先輩が受験した「令和8年度高校入試」。実際、どのくらいの倍率で、どのくらいの不合格者がいたのか、ここでは様々な数値をもとに今春入試を振り返り、分析していきます。多くの不合格者が出て、非常に厳しい入試になった高校も多くあります。自分の志望高校では、どのような入試が行われたのかを見極めながら、来春の入試に備えておきましょう。なお、実質倍率とは、(受検者数)÷(合格者数)の値を表したものです。

第1区 (飯山市・下水内郡・下高井郡)

※各校の「入学予定者数」には、再募集での入学者も含まれます。

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜							後 期 選 抜							合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数		
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不合格者数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不合格者数					
								R6年	R7年	R8年						R6年				R7年	R8年
飯山	普通	80	24	34	34	24	1.42	14	2	10	56	42	42	42	1.00				66	14	67
	自然科学探究 人文科学探究	80	48	36	36	36	1.00	1	5	0	44	10	10	10	1.00	0	0	0	46	34	48
	スポーツ科学	40	36	27	27	27	1.00	0	0	0	13	4	4	4	1.00	0	0	0	31	9	31
下高井農林	農業 地域創造農学	80	40	39	39	39	1.00	1	0	0	41	14	14	14	1.00	0	0	0	53	27	53
小 計		280	148	136	136	126	1.08	16	7	10	154	70	70	70	1.00	0	0	0	196	84	199

第2区 (中野市・須坂市・上高井郡)

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜							後 期 選 抜							合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数			
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不合格者数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不合格者数						
								R6年	R7年	R8年						R6年				R7年	R8年	
中野立志館	総合	160	96	102	102	96	1.06	13	0	6	64	42	41	41	1.00	0	0	0	137	23	138	
中野西	普通	160	80	87	87	80	1.09	22	29	7	80	69	69	69	1.00	0	0	0	149	11	151	
須坂東	普通	120	72	34	34	34	1.00	0	1	0	86	28	28	28	1.00	0	0	0	62	58	66	
須坂	普通	240									240	252	252	246	1.02	0	0	6	246	-	246	
須坂創成	農業	園芸農学	120	72	117	117	72	1.63	36	49	45	48	54	54	48	1.13	0	32	5	120	-	120
		食品科学																				
		環境造園																				
	工業	創造工学	40	24	32	32	24	1.33	0	14	8	16	14	14	15	0.93				39	1	39
商業	商業	80	48	75	75	48	1.56	23	55	27	32	33	33	33	1.00				81	-	81	
小 計		920	392	447	447	354	1.26	94	148	93	566	492	491	480	1.02	0	32	11	834	93	841	

第3区 (長野市北部・上水内郡)

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜							後 期 選 抜							合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数			
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不合格者数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不合格者数						
								R6年	R7年	R8年						R6年				R7年	R8年	
北部	普通	80	40	29	29	29	1.00	1	0	0	51	26	26	26	1.00	0	0	0	55	25	56	
長野吉田	普通	240									240	262	262	246	1.07	22	40	16	246	-	246	
長野	普通	280									280	290	289	281	1.03	43	28	8	281	-	281	
長野西	普通	200									200	208	208	200	1.04				200	-	200	
	国際教養	40	36	52	52	36	1.44	11	0	16	4	14	14	4	3.50	36	16	18	40	-	40	
長野商業	商業 商業 会計	200	120	181	181	120	1.51	85	81	61	80	82	81	80	1.01	8	12	1	200	-	200	
長野東	普通	160	48	81	81	48	1.69	62	50	33	112	112	112	112	1.00	14	0	0	160	-	160	
長野工業	工業	機械工学	40	24	35	35	24	1.46	9	13	11	16	15	15	16	0.94				40	-	40
		電気電子工学	40	24	32	32	24	1.33	6	5	8	16	16	15	16	0.94				40	-	40
		物質化学	40	24	28	28	25	1.12	2	7	3	16	17	17	16	1.06				41	-	41
		情報工学	40	24	28	28	24	1.17	10	24	4	16	15	15	15	1.00	8	0	6	39	1	39
		土木工学	40	24	41	41	24	1.71	18	16	17	16	20	20	16	1.25				40	-	40
		建築学	40	24	52	52	24	2.17	18	15	28	16	19	19	16	1.19				40	-	40
長野西中条校	普通	40	20	9	9	9	1.00	12	0	0	31	2	2	2	1.00	2	0	0	11	29	11	
篠ノ井尾崎校	普通	40	24	7	7	7	1.00	0	0	0	33	0	0	0	0.00	0	0	0	7	33	7	
市立長野	総合	160	50	83	83	50	1.66	38	46	33	45	48	48	46	1.04	0	11	2	96	-	165	
小 計		1,680	482	658	658	444	1.48	272	257	214	1,172	1,146	1,143	1,092	1.05	133	107	51	1,536	88	1,606	

※市立長野高の入学予定者には附属中学校からの入学予定者を含む。

第4区 (長野市南部・千曲市・埴科郡)

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜							後 期 選 抜							合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数			
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不合格者数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不合格者数						
								R6年	R7年	R8年						R6年				R7年	R8年	
長野南	普通	200	80	112	112	80	1.40	29	52	32	120	104	104	104	1.00	0	6	0	184	16	185	
篠ノ井	普通	200									200	198	198	198	1.00	13	0	0	198	2	199	
更級農業	農業	生産流通	120	72	95	95	72	1.32	23	50	23	48	39	39	39	1.00	0	8	0	111	9	111
		生物科学																				
		グリーンライフ 施設園芸																				
松代	普通	80	48	19	19	19	1.00	0	0	0	61	15	15	15	1.00	0	0	0	34	46	34	
	商業 商業	40	24	22	22	22	1.00	1	0	0	18	3	3	3	1.00	0	0	0	25	15	25	
屋代	普通	240									160	158	158	157	1.01				157	3	239	
	理数	40	28	33	33	28	1.18	14	19	5	12	11	11	11	1.00	0	17	1	39	1	39	
屋代南	普通	80	32	57	57	32	1.78	17	13	25	48	45	45	45	1.00	0	0	0	77	3	79	
	家庭 ライフデザイン	40	24	31	31	24	1.29	15	12	7	16	6	6	6	1.00	0	0	0	30	10	33	
坂城	普通	80	32	35	35	32	1.09	5	1	3	48	16	16	16	1.00	1	0	0	48	33	49	
小 計		1,120	340	404	404	309	1.31	104	147	95	731	595	595	594	1.00	14	31	1	903	138	993	
第1通学区計		4,000	1,362	1,645	1,645	1,233	1.33	486	559	412	2,623	2,303	2,299	2,236	1.03	147	170	63	3,469	403	3,639	

※屋代高の入学予定者数には附属中学校からの入学予定者を含む。

第2通

# 5区の後期不合格者数は前年の64人が45人に 人気の差が大きい6区 3校は二桁の再募集

## 5区 後期不合格者は千曲 19人、染谷と東は13人 人気の上田が再募集を実施

再募集数は5区全体で、この10年では最多となる63人に達したが、そのうちの62人は丸子修学館。また、地域トップ校の上田が再募集を実施するという「異変」も生じた。後期選抜での不合格者は前年の64人が45人に減。私立高校への進学者が増加したためと思われる。

まずは62人の再募集を実施した「丸子修学館」。一昨年は9人、昨年は39人の再募集を実施。前期受検生も減少しており、人気にやや陰りが見られる。

「上田千曲」は後期選抜で、19人の不合格者を出す人気。家庭科の食物栄養の前期は、1.96倍の高倍率になっている。「上田」は1人ではあるが再募集を実施した。人気調査の意味合いが強い第1回予定数調査においても、前年の402人が、339人に減少している。

「上田染谷丘」は2人の校長裁量合格者を出しながら、13人の不合格者を出す。国際教養科は前期選抜での人気は高まったが、後期での人気がいま一つ。

「上田東」も2人の校長裁量合格者を出しながら、13人の不合格者を出す。第1回・2回の予定数調査の段階から前年を上回っており、人気は高い。

中山間地にある「蓼科」と「小海」はいずれも大量の再募集を実施した。「小海」は昨年36人、今春も39人の再募集を実施した。「蓼科」も36人の再募集となった。



上田高校



野沢北高校

## 6区 都市部校と中山間地校で人気の二極化 前期の不合格者は104人から166人に

今年度から小諸と小諸商業が統合され、「小諸義塾」が開校した。しかし、再募集数は6区全体で121人となり、これで10年連続の100人超。特に中山間地校での再募集が多い。

新設の「小諸義塾」は、普通科では1人の校長裁量合格者を出しながらビジネス科と合わせて6人の不合格者。商業科のビジネス科も前期実質倍率は1.47倍の高人気。音楽科のみ7人の欠員となるが、全体的にはまずまずのスタートを切った。

昨年は25人の再募集を行った「軽井沢」だが、今回は一転、1人の校長裁量合格者を出しながら6区では2番目に多い4人の後期不合格者を出す。前期でも14人の不合格者を出す人気になった。

地域トップ校の「野沢北」は、2人の後期選抜不合格。理数科の後期の実質倍率は2倍となった。「岩村田」は2人の校長裁量合格者を出しながら1人の不合格者を出す。昨年は再募集を行っていたが人気に戻りつつある状況。「野沢南」は昨年13人の不合格者を出す人気であったが、今春は5人の再募集を実施した。

平成27年に開校した「佐久平総合技術」。農業科は人気高の状況にあるが、工業科と総合学科の創造実践科は苦戦。工業科は2学科合わせて14人の再募集。昨年の6人からさらに増えた。創造実践科は2年続けての再募集20人になった。

## 高校の種類

みなさんが目指す「高校」

### 1. 設置者による分類

- 公立(県立・市立)高校
- 私立高校
- 国立高専

第1の分類は「設置者」による違いです。3種類あり、その1つは、学校ごとにそれぞれの特色がある「公立高校」です。現在、長野県内には県立高校が76校、長野市立高校が1校の計77校が設置されています。「長野県〇〇高校」というのが県立高校です(長野県の高校は「長野県立〇〇高校」ではなく、「長野県〇〇高校」と呼ばれます)。

次が独自の建学の精神を持つ「私立高校」です。現在、県内には全日制16校、通信制12校(※休校中除く。独立校・併置校の計)があります。このほか、長野市には5年制の「国立長野工業高等専門学校(長野高専)」があります。

### 2. 形態に

- 全日
- 定時
- 多部
- 通信

第2の分類学校と同じように授業を行います。時間ほど学ぶ卒業となります。3年での卒業を「多部制・単位間部の3部から希望年数を考慮受ける形です。なしながら、平ングを受ける形時間に学校に

第5区 (上田市・東御市・小県郡)

高 校	学 科	募集定員	前 期 選 抜							後 期 選 抜							合格者総数	再募集数	入学予定者数			
			募集人員	志願者数	受検者数	合格者数	実質倍率	不合格者数			募集人員	志望変更後最終志願者数	受検者数	合格者数	実質倍率	不合格者数						
								R6年	R7年	R8年						R6年				R7年	R8年	
上田千曲	工業	メカニカル工学	40	24	32	24	1.33	12	12	8	16	23	23	16	1.44	6	8	19	40	-	40	
		電気	40	24	38	38	24	1.58	18	6	14	16	13	13	16				0.81	40	-	40
		建築	40	24	42	42	24	1.75	14	21	18	16	17	17	16				1.06	40	-	40
	商業	商業	40	24	28	28	24	1.17	26	23	4	16	19	18	16				1.13	40	-	40
		生活福祉	40	24	42	42	24	1.75	8	24	18	16	22	22	16				1.38	40	-	40
		食物栄養	40	24	47	47	24	1.96	26	21	23	16	22	22	16				1.38	40	-	40
上田	普通	280									280	279	279	279	1.00	7	10	0	279	1	279	
上田染谷丘	普通	240									240	254	253	242	1.05	3	44	13	242	-	242	
	国際教養	40	32	63	62	32	1.94	26	16	30	8	10	10	8	1.25				40	-	40	
上田東	普通	240									240	255	255	242	1.05	9	2	13	242	-	242	
丸子修学館	総合	200	120	99	99	99	1.00	51	0	0	101	39	39	39	1.00	0	0	0	138	62	151	
小 計		1,240	296	391	390	275	1.42	181	123	115	965	953	951	906	1.05	25	64	45	1,181	63	1,194	

第6区 (小諸市・佐久市・北佐久郡・南佐久郡)

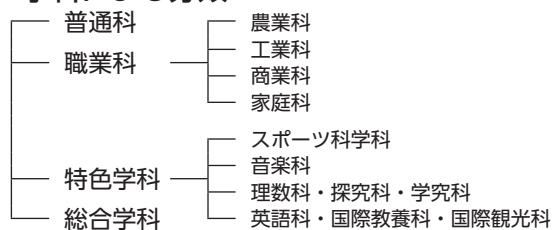
高 校	学 科	募集定員	前 期 選 抜							後 期 選 抜							合格者総数	再募集数	入学予定者数				
			募集人員	志願者数	受検者数	合格者数	実質倍率	不合格者数			募集人員	志望変更後最終志願者数	受検者数	合格者数	実質倍率	不合格者数							
								R6年	R7年	R8年						R6年				R7年	R8年		
蓼科	普通	80	40	29	29	29	1.00	0	0	0	51	15	15	15	1.00	0	0	0	44	36	44		
小諸義塾	普通	120	60	136	135	60	2.25	16	21	75	60	66	66	61	1.08	6	6	6	121	-	121		
	商業	120	72	106	106	72	1.47	23	32	34	48	49	49	48	1.02				0	3	120	-	120
	音楽	40	36	32	32	30	1.07	2	1	2	10	3	3	3	1.00				0	0	33	7	33
軽井沢	普通	80	48	62	62	48	1.29	0	0	14	32	38	37	33	1.12	0	0	4	81	-	81		
佐久平総合技術	農業	食物マネジメント	120	72	103	103	72	1.43	27	34	31	48	53	53	48	1.10	2	0	1	120	-	120	
		生物サービス																					
		食農クリエイティブ																					
	工業	40	24	30	30	24	1.25	2	0	6	16	9	9	9	1.00	33				7	34		
機械システム	電気情報	40	24	20	20	20	1.00	2	1	0	20	13	13	13	1.00	33	7	35					
	創造実践	80	40	34	34	34	1.00	1	3	0	46	22	22	26	0.85	60	20	65					
岩村田	普通	200									200	203	203	202	1.00	7	0	1	202	-	202		
野沢北	普通	160									160	158	158	160	0.99	0	1	2	160	-	160		
	理数	40	36	40	40	36	1.11	0	12	4	4	8	8	4	2.00				40	-	40		
野沢南	普通	160									160	155	155	155	1.00	2	13	0	155	5	158		
小海	普通	80	40	25	25	25	1.00	0	0	0	55	16	16	16	1.00	0	0	0	41	39	41		
小 計		1,360	492	617	616	450	1.37	73	104	166	910	808	807	793	1.02	11	23	14	1,243	121	1,254		
第2通学区計		2,600	788	1,008	1,006	725	1.39	254	227	281	1,875	1,761	1,758	1,699	1.03	36	87	59	2,424	184	2,448		

進学」。ひとくちに「高校」といっても様々な種類，形態があります。ここでは，その種類を紹介します。

よる分類

- 制高校
- 制高校
- 制・単位制高校
- 制高校

3. 学科による分類



は「形態」です。「全日制」は中に朝登校し，16時くらいまで。17時から21時頃まで4「定時制」は，基本的に4年ですが，一部「特別授業」を設け，可能とする高校もあります。「制」は，午前部・午後部・夜自分の生活スタイルと卒業して，授業を組み合わせる「通信制」は，自宅で課題をこ均週1回登校してスクーリです。最近では，毎日好きな行き学ぶ形もあります。

第3の分類は「学科」によるものです。

まず「普通科」は中学校での学びとイメージが近く，国・数・社・理・英や体育，美術といった一般教科の学習を中心に，幅広い教養を身につけます。中学卒業生の最も多くが進学する学科で，就職から大学進学まで多様な進路選択ができるよう，2年次から文系・理系に分かれたり，コースや系列が設けられたりしています。

次の「職業科」と「特色学科」が「普通科」と大きく異なる点は，授業の3分の1が，その学科の専門教科になっていることです。たとえば農業科であれば，農業に関する授業が3分の1以上あります。1日6時間の授業があるとすれば，4時間は国・数・英などの一般教科の授業，2時間は農業に関する授業という形です。1年次は一般教科が多く，3年次になると，半分以上が専門教科になる高校が多くあります。

最後の「総合学科」は多様な選択科目が設定され，自分の学びたいことに沿って時間割を組み立てることができる学科です。英語の授業を例にとると，基礎から大学進学まで対応できる講座があったり，時事英語や英会話など，多彩な授業が設定されています。そこから自分の将来の希望に向けて自分なりの学びができるシステムになっています。

## 第3通

## 全ての区で後期不合格者が減少

## 二桁不合格は「伊那北」のみ 飯田6人、清陵は再募集

7区 9校中7校が再募集を実施する“異変”  
後期で不合格出すのは岡谷東と諏訪二葉のみ

過去最多となる9校中7校が再募集を実施し、その数は220人になった。逆に前期選抜・後期選抜ともに不合格者は大きく減少。緩やかな募集定員の策定とともに、県外の私立高校へ流出した生徒が多かったと考えられる。

後期選抜で最も多くの不合格者を出したのは「岡谷東」で9人。また、同校の前期選抜不合格者60人は、中南信地区の最多数。このほか、後期選抜で不合格者を出したのは「諏訪二葉」で2人。この2校だけが後期選抜で不合格者を出す、少々“異変”ともいえる状況。7区の人気校である「諏訪清陵」は10人の再募集を実施する、こちらも“異変”といえる状況になった。

再募集が最も多かったのは「茅野」で50人。次が「下諏訪向陽」の48人。同校は高校再編基準の1年目に該当することになる。

このほか、職業科も大きな欠員となった。「諏訪実業」は商業科32人、家庭科12人の計44人の再募集を実施する。商業科は前年の前期選抜では14人の不合格者を出していたが、今年度は募集人員に達せず。家庭科は前年より再募集数は減ったが、依然として大きな欠員になっている。「岡谷工業」は情報技術科以外は全て欠員になった。機械工学科の入学者が最も少なく40人募集に対し18人。以下、電気工学科26人、電子機械科30人。情報技術科のみ前期選抜で14人の不合格者を出し、入学生は定員同数の40人。全体では46人の欠員スタートになった。

他の高校も欠員でのスタートになった。「富士見」は普通科9人、農業科5人の再募集を実施。最終入学者は普通科32人、農業科36人。「岡谷南」は7人の再募集を実施する。同校の後期選抜不合格者は、増加・減少を繰り返すいわゆる“隔年現象”になっていることにも注目したい。

8区 後期不合格者は14人で、落ち着いた入試に  
伊那北で最多の11人の後期不合格者

中学卒業生は前年比133人の減になったことから、上伊那農業・伊那北(普通)・伊那弥生ヶ丘の3校は各1学級減となった。その結果、高遠の再募集18人が少々目立つほかは、他区に比べると再募集数は少ない。

「辰野」の普通科前期選抜は前年より3人多い、22人の不合格者を出す。後期選抜は1人の再募集を実施した。商業科の前期選抜は昨年並みであったが、後期選抜は振るわず、9人の欠員スタートになった。

4学科を3学科に改編した「上伊那農業」。それに合わせ募集定員は160人から120人に減少。その影響もあり、後期選抜では1人の校長裁量合格者を出しながら、1人が不合格となり、着実に入学者を集めた。

中山間地存立校の「高遠」は、8区では最多となる18人の再募集を行う。前期・後期選抜ともに、前年より志願者・受検者を減らし、特に後期選抜受検者は前年の31人から14人に減少したのが、大きく影響している。

「伊那北」は普通科・理数科ともに、1人の校長裁量合格者を出しながら、後期選抜で11人が不合格となる。「伊那弥生ヶ丘」も安定した人気。後期選抜で2人の不合格者を出し、定員同数の入学者数でスタート。

駒ヶ根市の2校はともに再募集を行う。「赤穂」は普通科が6人の再募集を実施。昨年も同数の再募集。商業科は定員と同数でスタート。「駒ヶ根工業」は昨年の8人に続き、今春も5人の再募集。中南信地区の工業科は、全体的に苦戦した。

9区 「飯田」は6人の後期不合格者  
都市部校と中山間地校で人気の格差

後期選抜での不合格者は13人、再募集は59人と多かったものの、比較的落ち着いた入試になった。

このうち、飯田市内の4校は安定した人気。「飯田」は4人の校長裁量合格者を出しながら、6人の不合格者を出す。理数科の前期選抜倍率1.75倍は、中南信地区では赤穂・商業科と並ぶ最高倍率。理数科は後期選抜も最高倍率になっている。

「飯田風越」は昨年度は普通科26人、国際教養科2人の再募集を実施したが、今春は4人の不合格者を出す人気になった。「飯田OIDE長姫」は社会基盤工学科と商業科で各1人の再募集を実施する。中南信地区の商業科は、諏訪実業と飯田OIDE長姫のほか、穂高商業も再募集を実施。人気薄となった。

「下伊那農業」は学科により差はあるが、全校では、校長裁量合格者を1人出しながら、1人の再募集を実施。安定した人気を保っている。「松川」は、後期選抜では3人の不合格者を出すなど、確実に入学生を集めているが、前期選抜での倍率は下がっている。

都市部にある高校は、一定の入学者を集めたが、中山間地にある高校は苦戦した。「阿南」は前期選抜で26人、後期選抜で10人、再募集で5人の合格者を出し、入学者数は41人。「阿智」も12人の再募集を行う。前期・後期ともに受検者は前年より10人ほど減少している。



伊那北高校



飯田高校

第7区 (諏訪市・茅野市・岡谷市・諏訪郡)

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜								後 期 選 抜								合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志願変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数					
								R6年	R7年	R8年						R6年	R7年	R8年			
富士見	普通	40	24	18	17	1.00	2	0	0	23	14	14	14	1.00	0	5	0	31	9	32	
	農業 園芸	40	24	29	29	1.21	7	15	5	16	11	11	11	1.00	0	0	0	35	5	36	
茅野	普通	80	24	15	15	1.00	7	1	0	65	15	15	15	1.00	0	0	0	30	50	30	
諏訪実業	商業 商業 会計情報	80	48	33	33	1.00	0	14	0	47	16	16	16	1.00	0	0	0	49	32	49	
	家庭 服飾		40	24	23	23	1.00	6	0	0	17	5	5	5	1.00	0	0	0	28	12	28
諏訪清陵	普通	240								161	154	151	151	1.00	11	13	0	151	10	234	
諏訪二葉	普通	200								200	202	202	200	1.01	6	2	2	200	-	200	
下諏訪向陽	普通	200	100	120	120	1.20	33	4	20	100	55	52	52	1.00	0	0	0	152	48	156	
岡谷東	普通	120	72	132	132	1.83	78	60	60	48	57	57	48	1.19	10	4	9	120	-	120	
岡谷南	普通	160								160	153	153	153	1.00	0	17	0	153	7	154	
岡谷工業	工業	機械工学 電気工学 電子機械 情報技術	40	24	16	16	1.00	44	30	0	24	2	2	2	1.00	0	0	0	18	22	18
			40	24	19	19	1.00			0	21	5	5	7	0.71				26	14	26
			40	24	22	22	1.00			0	18	6	6	7	0.86				29	11	30
			40	24	38	38	1.58			14	16	19	19	16	1.19				40	-	40
小 計		1,360	412	465	464	365	1.27	177	124	99	916	714	708	697	1.02	27	41	11	1,062	220	1,153

※諏訪清陵の入学予定者数には、附属中学校からの進学予定者を含む。

第8区 (伊那市・駒ヶ根市・上伊那郡)

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜								後 期 選 抜								合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数			
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志願変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数								
								R6年	R7年	R8年						R6年	R7年	R8年						
辰野	普通	80	48	70	70	1.46	19	19	22	32	31	31	31	1.00	0	0	0	79	1	80				
	商業 商業	40	24	27	27	1.13	2	4	3	16	7	7	7	1.00	0	0	0	31	9	31				
上伊那農業	農業	つくるマネジメント 流通マネジメント くらしマネジメント	120	72	114	114	1.58	67	78	42	48	51	50	49	1.02	6	7	1	121	-	121			
			高遠	普通	80	48	48	48	1.00	15	19	0	32	14	14	14	1.00	0	0	0	62	18	63	
			伊那北	普通	160								160	159	158	161	0.98	0	6	11	161	-	161	
理数	40	36		55	55	1.53	6	7	19	4	19	19	5	3.80	0	0	0	41	-	41				
伊那弥生ヶ丘	普通	160								160	162	162	160	1.01	0	4	2	160	-	160				
赤穂	普通	120								120	112	112	114	0.98	0	0	0	114	6	117				
	商業 商業	80	48	85	84	1.75	39	44	36	32	34	34	32	1.06	0	0	0	80	-	80				
駒ヶ根工業	工業	機械 電気 情報技術	120	72	89	89	1.24	0	20	17	48	43	43	43	1.00	0	0	0	115	5	115			
			小 計		1,000	348	488	487	348	1.40	148	191	139	652	632	630	616	1.02	6	17	14	964	39	969

第9区 (飯田市・下伊那郡)

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜								後 期 選 抜								合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数			募集 人員	志願変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不 合 格 者 数					
								R6年	R7年	R8年						R6年	R7年	R8年			
松川	普通	80	40	50	50	1.25	35	14	10	40	44	43	40	1.08	4	0	3	80	-	80	
飯田	普通	200								200	193	192	204	0.94	2	10	6	204	-	204	
	理数	40	28	49	49	1.75	12	2	21	12	30	30	12	2.50	0	0	0	40	-	40	
飯田風越	普通	160								160	164	164	160	1.03	0	0	4	160	-	160	
	国際教養	40	36	45	45	1.25	4	6	9	4	4	4	4	1.00	0	0	0	40	-	40	
飯田OIDE 長姫	工業	機械工学	40	24	26	26	1.08	3	14	2	16	19	19	16	1.19	2	7	0	40	-	40
		電子機械工学	40	24	27	27	1.13	7	0	3	16	15	15	16	0.94				40	-	40
		電気電子工学	40	24	35	35	1.46	14	20	11	16	16	16	16	1.00				40	-	40
		社会基盤工学	40	24	37	37	1.54	16	17	13	16	13	13	15	0.87				39	1	39
		建築学	40	24	42	42	1.75	24	20	18	16	18	18	16	1.13				40	-	40
		商業 商業	80	48	61	61	1.27	5	29	13	32	29	29	31	0.94				79	1	79
下伊那農業	農業	栽培科学	40	24	33	33	1.38	55	15	9	16	18	18	17	1.06	0	0	0	41	-	41
		地域資源	40	24	42	42	1.68		27	17	16	15	15	15	1.00				40	1	40
		生物活用	40	24	33	33	1.38		7	9	16	15	15	16	0.94				40	-	40
阿智	普通	80	32	41	41	1.28	13	18	9	48	36	36	36	1.00	0	0	0	68	12	73	
阿南	普通	80	32	26	26	1.00	0	0	0	54	10	10	10	1.00	0	0	0	36	44	41	
小 計		1,080	408	547	547	403	1.36	188	189	144	678	639	637	624	1.02	8	17	13	1,027	59	1,037
第3通学区計		3,440	1,168	1,500	1,498	1,116	1.34	513	504	382	2,246	1,985	1,975	1,937	1.02	41	75	38	3,053	318	3,159

## 第4通

# 11区は全県で最も多い後期不合格者

## 10区と12区は厳しい少子化で、100人超す再募集

### 10区 2校の全学科が定員未満の入学者 厳しい少子化が進む地域

厳しい少子化が進行する区。再募集は2校の全学科が行い、その数は105人。最終入学者数は2校の募集人員240人に対し、57%に当たる137人。

「蘇南」は前期選抜27人、後期4人の合格者で、入学者数は31人。

「木曾青峰」は理数科の欠員が最も多く23人。地元において大学進学を目指す生徒であれば、積極的にチャレンジしたい。今春から全国募集を始めた農業科の森林環境科は、2人の県外生を集め22人でのスタート。

### 11区 後期不合格者は全県最多の134人 私立高校進学者増え再募集は過去最多の252人

私立高無償化の影響を最も大きく受けた区。後期選抜不合格者は全県で最も多い134人。一方で再募集は12校中9校で行い、その人数は252人で全県最多。以前は“私立高校の合格通知を手に、第一志望の公立高校を、強気に志願・受検”という傾向が見られたが、今春は大きく状況が変化。私立高校専願者が増え、併願でも私立高校に合格すれば、そのまま私立高校へ進学という動きもある。

まず、後期選抜の不合格者状況から確認する。

最も多い不合格者を出したのは「松本蟻ヶ崎」で73人。73人は全県最多であるとともに、この3年間でも全県最多の不合格者数。予定数調査では前年を下回っていたが、志願段階で一気に増えた。次に多いのが「松本県ヶ丘」。普通科で6人、探究科で2人の校長裁量合格者を出しながら、全体で31人の不合格者を出す。探究科の人気の高い。中信地区トップ校の「松本深志」は確実に受検者を集める。28人の後期選抜不合格者を出し、定員と同数の入学者数でのスタート。

次に過去最多になった再募集の状況。

最も多かったのは「田川」の49人。昨年も40人の再募集を実施しており、2年続けての40人超。特に前期選抜は2年続けて募集人員に届かず、不合格者は0人。次に大きな欠員になったのが「梓川」。前期選抜合格者は前年の72人から63人に、後期選抜合格者も30人から13人に減少している。

「松本美須ヶ丘」は、私立高無償化の影響を大きく受けた。一昨年36人、昨年26人の後期選抜不合格者を出していたが、今春は一転、不合格者はおらず、逆に40人の再募集を実施。最終的に欠員32人でのスタート。

「豊科」も28人の再募集を行う。前年の12人から大きく増加。こちらも私立高の影響を受けたか。「明科」も33人の再募集を実施する。こちらも前年の17人からほぼ倍に増加。入学者数は47人に留まった。

本県の総合学科第一号である「塩尻志学館」。一昨年は後期選抜で22人の不合格者を出していたが、昨春は12人、そして今春は2人の再募集を実施する。

職業高校はいずれも苦戦した。

「松本工業」は定員内不合格者を2人出しつつ、3学科全てで再募集を実施。「南安曇農業」はグリーンサイエンス科は前期選抜で二桁の不合格者を出しながら、1人の校長裁量合格者を出して、定員を1人上回る人数でスタート。しかし、残る2学科は再募集を実施し、全校では欠員で新学期を迎えた。

同様に欠員スタートとなったのが「穂高商業」。前期選抜での不合格者が前年の20人から6人に大きく減少。後期選抜の第1回予定数調査は前年を上回ったが、以降の第2回予定数調査、受検者数は前年を下回った。

### 12区 厳しい少子化で岳陽は42人の再募集 白馬の国際観光だけが定員満たす

白馬の国際観光科以外の全校が再募集を行い、その数はこの10年では最多となる113人。2年連続の100人超。少子化とともに、11区への流出などが考えられる。

「池田工業」の入学者数は38人。少子化や11区への流出が大きく影響した。

「大町岳陽」は普通科で11人、学究科で31人の再募集を行う。特に大学進学に対応したカリキュラムを組む学究科の欠員は大きい。地域で学びながら大学進学を目指すのであれば、積極的にチャレンジしたい。

「白馬」の国際観光科は高い人気。前期選抜で12人、後期選抜でも1人の不合格者を出す。一方、普通科は振るわない。前年11人、今年は29人の再募集を実施する。



松本深志高校



松本県ヶ丘高校



松本蟻ヶ崎高校

第10区 (木曽郡)

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜								後 期 選 抜								合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不合格者数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不合格者数					
								R6年	R7年	R8年						R6年	R7年	R8年			
蘇南	総合	80	48	27	27	27	1.00	0	0	0	53	4	4	4	1.00	0	0	0	31	49	31
木曽青峰	普通	40									40	34	34	34	1.00	0	0	0	34	6	34
	農業 森林環境	40	24	22	22	22	1.00	0	8	0	18	0	0	0	0.00				22	18	22
	工業 インテリア	40	24	31	31	24	1.29	0	0	7	16	8	8	8	1.00				32	9	33
	理数	40	30	17	17	17	1.00	0	0	0	23	0	0	0	0.00				17	23	17
小 計		240	126	97	97	90	1.08	0	8	7	150	46	46	46	1.00	0	0	0	136	105	137

第11区 (松本市・塩尻市・安曇野市・東筑摩郡)

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜								後 期 選 抜								合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不合格者数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不合格者数					
								R6年	R7年	R8年						R6年	R7年	R8年			
塩尻志学館	総合	200	120	161	161	120	1.34	89	58	41	80	79	78	78	1.00	22	0	0	198	2	198
田川	普通	160	96	67	67	67	1.00	43	0	0	93	45	44	44	1.00	1	0	0	111	49	112
梓川	普通	120	72	63	63	63	1.00	14	23	0	57	14	13	13	1.00	0	0	0	76	44	76
松本工業	工業 機械	80	48	72	72	48	1.50	31	2	24	32	31	31	29	1.07	1	0	2	77	3	77
	電気	40	24	33	33	24	1.38	9	7	9	16	10	10	10	1.00				34	6	34
	電子工業	80	48	47	47	47	1.00	16	5	0	33	13	13	13	1.00				60	20	60
松本県ヶ丘	普通	240									240	260	259	246	1.05	24	52	31	246	-	246
	自然探究	80	64	110	110	64	1.72	70	45	46	16	36	36	18	2.00				82	-	82
	国際探究																				
松本美須ヶ丘	普通	280									280	240	240	240	1.00	36	26	0	240	40	248
松本深志	普通	280									280	309	308	280	1.10	25	38	28	280	-	280
松本鎌ヶ崎	普通	280									280	355	354	281	1.26	49	52	73	281	-	281
明科	普通	80	40	42	42	40	1.05	16	8	2	40	7	7	7	1.00	0	0	0	47	33	47
豊科	普通	200									200	172	172	172	1.00	0	0	0	172	28	174
南安曇農業	農業 グリーンサイエンス	40	24	38	38	25	1.52	22	18	13	16	17	17	16	1.06	3	0	0	41	-	41
	環境クリエイト	40	24	28	28	25	1.12	14	9	3	16	8	8	8	1.00				33	8	33
	生物工学	40	24	28	28	24	1.17	15	19	4	16	8	8	9	0.89				33	7	33
穂高商業	商業 商業	80	48	55	54	48	1.13	9	20	6	32	20	20	20	1.00	0	0	0	68	12	68
	情報マネジメント																				
小 計		2,320	632	744	743	595	1.25	348	214	148	1,727	1,624	1,618	1,484	1.09	161	168	134	2,079	252	2,090

第12区 (大町市・北安曇郡)

高 校	学 科	募集 定員	前 期 選 抜								後 期 選 抜								合格 者総 数	再募 集数	入学 予定 者数
			募集 人員	志願 者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不合格者数			募集 人員	志望変更 後最終志 願者数	受検 者数	合格 者数	実質 倍率	不合格者数					
								R6年	R7年	R8年						R6年	R7年	R8年			
池田工業	工業 機械・電気学 建築学	80	40	36	36	36	1.00	0	0	0	44	2	2	2	1.00	0	0	0	38	42	38
大町岳陽	普通	120	48	83	83	48	1.73	51	22	35	72	62	61	61	1.00	1	0	0	109	11	109
	学究	80	56	49	49	49	1.00	5	0	0	31	0	0	0	0.00				49	31	52
白馬	普通	40	20	11	11	11	1.00	0	3	0	29	0	0	0	0.00	0	3	1	11	29	11
	国際観光	40	30	42	42	30	1.40	12	18	12	10	12	11	10	1.10				40	-	40
小 計		360	194	221	221	174	1.27	68	43	47	186	76	74	73	1.01	1	3	1	247	113	250
第4通学区計		2,920	952	1,062	1,061	859	1.24	416	265	202	2,063	1,746	1,738	1,603	1.08	162	171	135	2,462	470	2,477



定時制  
多部制・単位制

多部制・単位制は3校とも定員を下回る  
定員内不合格者は大幅に減少し、2人に

昨春は185人だった定時制(中心校)入学生は、今春は144人に減少。200人を切る状況が続く。さらに多部制・単位制と合わせた人数は過去最少に。生徒層を同じにする通信制高校へ流れた可能性が高い。

高校別に見ていくと、前期選抜で最も多い志願者を集めたのは「上田」で、募集定員20人に対し15人が志願。「中野立志館」も二桁の受検者・合格者を出した。後期選抜では80人募集の「飯田OIDE長姫」が最多の受検者・合格者を出す。また、後期選抜での不合格者は「長野」で2人出しているが、これは、定員内不合格。現在、県立高校では不登校等を理由に不合格にすることはないので、学力不足か基本的な生活習慣の欠如や生徒指導で問題があると考えられる。これらの結果、定時制全15校のうち、二桁の合格者になったのは半数の7校に留まった。

多部制・単位制は、3校の全学科が定員を割り込む入学者数になった。午前部と午後部だけの「東御清翔」は、前期選抜不合格者が前年の6人から16人に増加。後期選抜では志願者は定員に満たず、最終的に2人の欠員でスタート。

「箕輪進修」は普通科のI・II部の前期選抜は定員とほぼ同数で、後期でも集まらず欠員スタート。また、本県のも多部制・単位制高校の第一号である「松本筑摩」は、前年より入学予定者を29人減らしてのスタートになった。

私立高校

中学卒業生の半数は私立高校を志願  
15校中9校が充足率100%を超える

私立高校については、前号の『ガクシンニュース』で全体の概要は紹介しているので、ここでは高校別に分析していく。

東北信唯一の女子高校である「長野清泉」。前年に充足率を大きく下げたが、今回は55.4%にまで回復した。

東北信では最多となる1,301人の志願者を集めたのが「文化学園長野」。入学者は251人、入学者の志願者に対する割合“入学率”は19.3%で、全県で最も低い割合。逆に言えば、併願校としての人気が高い。

総入学者371人で充足率123.7%の「長野日大」は、少々“取り過ぎた”形。安定した人気で、第一志望なら推薦入試から積極的にチャレンジする必要がある。

特色ある教育を実施し、全県から入学者を集めている「長野俊英」。今春もほぼ全県から入学者を集め、今春は前年を大きく上回る充足率110.7%でスタート。

東信地区の2校は安定した人気。「上田西」は募集定員290人に対し、入学者は285人で、充足率は98.3%。また、5区の同校志願者は638人いるが、これは5区の中学校卒業生の39.3%。つまり、5区ではおよそ5人に2人が上田西を志願している状況。

前年の充足率が90.2%で徐々に100%を切った「佐久長聖」も、今春は105.4%に回復。全県から生徒を集めるとともに、県外からの入学者が74人で、全体の4分の1近くが県外生というのが、同校の特色でもある。

「東海大諏訪」は地元7区からの志願者を、前年の361人から339人に減らすが、充足率は97.7%で、安定した人気を保つ。県外からの入学者が55人で、佐久長聖に次ぐ多さになっている。

南信地区にある2つの女子高校はいずれも、充足率が前年より上がった。「伊那西」は前年の75.3%から80.6%に、「飯田女子」は63.8%から81.4%に上昇した。ともに地域に根ざした高校で、地元からの入学者がほとんどを占める。

11区の6校は安定した人気だが、“取り過ぎ”の学校も見られる。学校にある教室数等の関係から、次年度の対応が注目される。

「東京都市大塩尻」の入学者は302人で、充足率は118.4%。昨春も充足率121.2%で、来年はボーダーラインを上げる可能性が高い。

全県で最も多くの志願者を集めたのが「松商学園」。充足率を見れば常に100%超で、安定した人気を保っているが、今春の充足率は147.1%に達した。

「松本国際」も充足率は117.9%。募集定員を34人上回る入学者になっている。一方、「松本第一」は、ほぼ定員通りの入学者である。

美術科や福祉科を設置し、さらに普通科でも独自のコースを設定する「エクスラン」。今春の充足率は前年を若干上回り85.0%だった。

開校6年目の「日本ウェルネス長野」。今春は入学者が大幅に増え、充足率は106.7%に上がった。

私立高校入学者の通学区別内訳

区	高校名	募集定員	1区		2区		3区	
			志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
3	長野清泉	175	2	2	15	11	87	55
	文化学園長野	210	16	3	71	10	791	172
	長野日大	300	17	6	104	59	530	211
4	長野俊英	215			6	3	188	74
5	上田西	290			5	4	13	7
6	佐久長聖	315			5	4	20	7
7	東海大諏訪	305			2	2	1	1
8	伊那西	170						
9	飯田女子	210						
11	東京都市大塩尻	255			4	4	3	2
	松商学園	420	2	1	5	5	4	4
	松本国際	190	1	1	8	6	7	7
	松本第一	195			1	0	5	4
	エクスラン	120					1	1
	日本ウェルネス長野	30			3	3	3	3
合計		3,400	38	13	229	111	1,653	548
私立高校志願率			17.7(17.9)		23.3(17.2)		69.3(57.4)	
私立高校進学率			6.0(10.1)		11.3(7.1)		23.0(20.6)	

定時制

高 校	学 科	募 集 定 員	前 期 選 抜							後 期 選 抜							合 格 者 総 数	再 募 集 合 格 者 数	入 学 予 定 者 数		
			募 集 人 員	志 願 者 数	受 検 者 数	合 格 者 数	実 質 倍 率	不 合 格 者 数			募 集 人 員	志 願 者 数 <small>志望変更後最終志願者数</small>	受 検 者 数	合 格 者 数	実 質 倍 率	不 合 格 者 数					
								R6年	R7年	R8年						R6年				R7年	R8年
中野立志館	普通	40	12	11	11	11	1.00	0	0	0	29	2	2	2	1.00	0	0	0	13	0	13
長野吉田	普通	40									40	7	7	7	1.00	0	0	0	7	0	7
長野	普通	40	20	8	8	8	1.00	0	0	0	32	3	3	1	3.00	0	0	2	9	0	10
長野商業	普通	40	20	9	9	9	1.00	0	0	0	31	2	2	2	1.00	0	0	0	11	0	11
長野工業	工業 基礎工学	40	4	0	0	0	0.00	0	0	0	40	9	9	9	1.00	0	0	0	9	0	9
	工業 建築	40	4	0	0	0	0.00	0	0	0	40	2	2	2	1.00	0	0	0	2	0	3
篠ノ井	普通	40									40	12	12	12	1.00	0	0	0	12	0	12
上田千曲	工業 機械	40									40	3	3	3	1.00	0	0	0	3	0	3
上田	普通	40	20	15	15	15	1.00	0	4	0	25	4	4	4	1.00	0	1	0	19	0	19
小諸義塾	商業 商業	40									40	5	5	5	1.00	0	0	0	5	0	6
野沢南	普通	40									40	13	13	13	1.00	0	0	0	13	0	13
諏訪実業	普通	40	10	0	0	0	0.00	0	0	0	40	3	3	3	1.00	0	0	0	3	0	3
赤穂	普通	40									40	9	9	9	1.00	0	0	0	9	0	9
飯田OIDE長姫	普通	80									80	21	21	21	1.00	0	0	0	21	0	21
木曾青峰	普通	40	8	0	0	0	0.00	0	0	0	40	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0	0
池田工業	普通	40	8	3	3	3	1.00	0	0	0	37	2	2	2	1.00	0	0	0	5	0	5
合 計		680	106	46	46	46	1.00	0	4	0	634	97	97	95	1.02	0	1	2	141	0	144

多部制・単位制

高 校	学 科	募 集 定 員	前 期 選 抜							後 期 選 抜							合 格 者 総 数	再 募 集 合 格 者 数	入 学 予 定 者 数														
			募 集 人 員	志 願 者 数	受 検 者 数	合 格 者 数	実 質 倍 率	不 合 格 者 数			募 集 人 員	志 願 者 数 <small>志望変更後最終志願者数</small>	受 検 者 数	合 格 者 数	実 質 倍 率	不 合 格 者 数																	
								R6年	R7年	R8年						R6年				R7年	R8年												
東御清翔	普通・午前部	120	72	88	88	72	1.22	17	6	16	48	46	46	46	1.00	0	0	0	118	0	118												
	普通・午後部																																
箕輪進修	普通・Ⅰ部	80	20	20	20	20	1.00	0	10	0	41	10	10	10	1.00	0	1	0	49	0	49												
	普通・Ⅱ部		20	19	19	19	1.00	3	1	0																							
	普通・Ⅲ部		40	20	5	4	4	1.00	0	0												0	36	2	2	2	1.00	0	0	0	6	0	6
	工業・Ⅰ部		40	20	17	17	17	1.00	0	0												0	23	4	4	4	1.00	0	0	0	21	0	21
松本筑摩	普通・午前部	120	80	59	59	59	1.00	14	3	0	63	2	2	2	1.00	0	0	0	63	0	63												
	普通・午後部																																
	普通・夜間部																					40									38	2	2
合 計		440	232	208	207	191	1.08	34	20	16	249	66	66	66	1.00	0	1	0	257	0	257												

4区		5区		6区		7区		8区		9区		10区		11区		12区		県外		志願者数	入学者数	充足率				
志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	8年度	7年度			6年度	5年度	4年度		
19	13	12	9	1	1	1	1							2	2	1	1	3	2	143	97	55.4	36.7	54.9	53.8	57.9
405	61	8	0							1	0			4	2	2	0	3	3	1,301	251	119.5	90.5	79.5	86.2	100.5
115	42	16	10	12	8	2	2	2	2	2	1	1	1	13	11	8	5	17	13	839	371	123.7	123.3	105.2	104.9	128.9
230	99	68	29	15	8			3	3	8	8			10	9			7	5	535	238	110.7	86.8	81.8	100.0	75.5
198	61	638	162	92	26	1	1	2	2					1	1			22	21	972	285	98.3	102.8	94.8	101.7	95.2
10	5	121	13	510	211	1	1	4	4	7	6			7	4	3	3	86	74	774	332	105.4	90.2	97.2	105.0	111.3
7	7	4	3	4	4	339	153	72	42	8	5	1	0	28	24	2	2	57	55	525	298	97.7	95.7	95.4	106.6	83.6
2	2			1	1	3	3	121	121	5	5			1	1			4	4	137	137	80.6	75.3	93.4	61.1	73.7
								13	8	232	162	1	1							246	171	81.4	63.8	70.7	100.0	85.6
1	1	2	2	3	3	228	27	230	35	4	2	17	8	642	190	2	1	28	27	1,164	302	118.4	121.2	102.4	97.3	103.1
4	4	7	6	7	7	41	21	23	13	14	13	11	8	1,249	479	68	36	25	21	1,460	618	147.1	115.0	103.1	108.3	111.0
2	1	1	1	2	2	20	15	40	24	7	6	3	2	316	112	13	4	47	43	467	224	117.9	100.5	119.5	115.3	107.4
3	2	3	1	2	2	12	9	12	11	3	2	4	4	328	141	14	9	16	15	403	200	102.6	113.8	95.4	111.8	106.2
1	1			1	1	11	8	6	4	2	2			99	77	7	7	1	1	129	102	85.0	80.0	95.8	97.5	95.8
1	1	1	1			1	1	2	1					12	11			11	11	34	32	106.7	33.3	143.3	80.0	46.7
998	300	881	237	650	274	660	242	530	270	293	212	38	24	2,712	1,064	120	68	327	295	9,129	3,658	107.6	95.8	93.3	96.8	96.2
59.8(55.4)		54.2(50.5)		35.0(31.1)		41.4(51.7)		34.1(35.0)		20.6(17.2)		20.4(17.9)		73.5(81.9)		28.7(28.3)		全県平均志願率		51.9(51.4)						
18.0(16.3)		14.6(15.9)		14.8(12.4)		15.2(15.9)		17.4(13.5)		14.9(13.2)		12.9(8.9)		28.8(25.5)		16.3(13.3)		全県平均進学率		20.8(18.6)						

( )内は昨年度

小学生のページ

# 個性, 学力, 体力を着実に伸ばす 中高一貫教育校の魅力



佐久長聖中学校



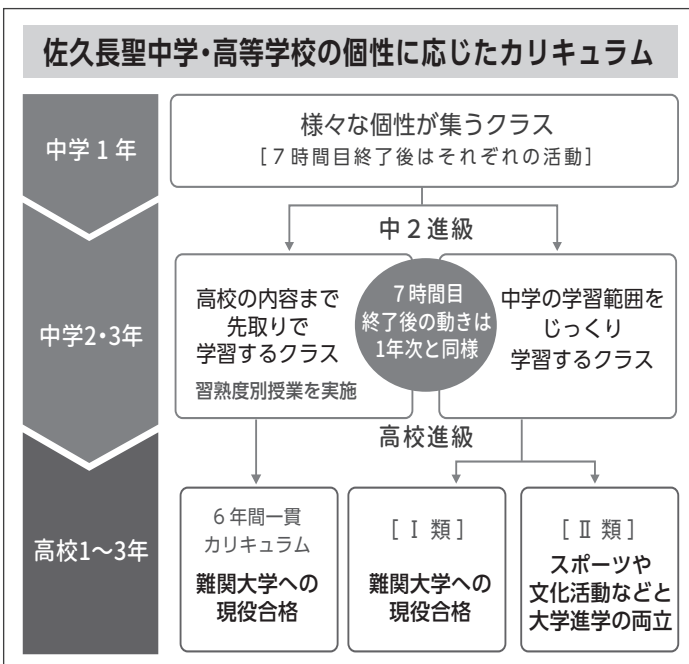
佐久長聖高校

中高一貫教育校の最大の特色は、高校入試がないことです。このため、“ゆとり”が生まれ、6年先を意識した指導がされています。生徒の皆さんも、高校入試のプレッシャーを感じることなく、自分の将来を見据えた学びができます。難関大学を目指す人であれば、学力をしっかり伸ばすことができ、また、スポーツでも芸術でも、自分の個性をゆっくり・じっくり伸ばすことができます。このような中高一貫教育校の魅力を具体的に探っていきます。

前号では中学校の種類として、多くの人が通う3年制の中学校と、中高一貫教育校があることを紹介しました。今回はさらに、中高一貫教育校の魅力を、県下で最初の中高一貫教育校である「佐久長聖中学・高校」を例に紹介します。



## 中高一貫教育校のカリキュラムの例<佐久長聖中学・高校の場合>



ラスの学習」を設定。実践力を高める授業や、特別講座を行っています。また、スポーツを頑張りたい人は、4時からクラブ活動に取り組みます。

### 中学2・3年生 学習進度に応じた教室

2年生になると、より自分に合った学びができるように、「高校の内容まで先取りで学習するクラス」と「中学の学習範囲をじっくり学習するクラス」の2クラスに分かれての授業になります。さらに、「高校の内容まで先取りで学習するクラス」では、英語と数学については習熟度別で授業が行われます。学力の定着度合いに応じた選抜講座を設け、プラスアルファの教材を使用したり、特別講師による授業を行うなどして、知的好奇心を刺激していきます。

### 高校1~3年生 目標実現に向けた教室

先取り学習を進めたクラスは、そのままのクラスで高校に進級し、同じ仲間たちと、高校3年間を過ごしていきます。高校2年次からは、文系と理系に分かれた習熟度別授業となり、最難関大学を目指していきます。

中学範囲をじっくり学習してきたクラスの生徒は、難関大学への現役合格を目指す『I類』か、スポーツや文化活動と大学進学のための学習との両立を目指す『II類』のどちらかに進級することになります。いずれも公立中学校から入学してきた生徒たちとともに、切磋琢磨していくこととなります。

### 中学1年生 個性が集う教室

まずは、中学1年生の学びです。ここでは、どの生徒も共通の授業を受けます。勉強を頑張りたい人もいれば、スポーツを頑張りたい人、さらには文化・芸術活動を頑張りたい人。色々な個性あふれる仲間がいて、お互いの個性を認め合い・尊重し合い、刺激合っています。まさに、東大や難関の医学部を目指す生徒と、スポーツや芸術活動で世界を目指す生徒が、隣同士の席で高め合っている形です。授業は一日7時間。さらに8時間目には、勉強を頑張りたい人のために「プ

高校入試のホットな情報満載

# ガクシンニュース

編集・発行  
ガクシン編集部

## 今春の入試結果

### さらに進んだ多様な進路形態 私立高校進学率が最高比率に

今春の高校入試結果が、ほぼ揃いました。長野県教育委員会が公表した、様々な進路状況から、今春入試を総括していきます。

下の表Ⅰには、今春の県下中学卒業生の進路状況を個別に示しました。

最も進学者が多い「全日制公立高校」への進学率について、平成29年度からの10年間推移を見れば、今回の66・61％は、3年続けて70％を切るもので、過去最低値を更新し続けています。一方で、県内「私立高校」への進学率は過去最高となる20・80％になりました。私立高校の授業料が無償化されたことから、公立と私立の「垣根」がなくなったと考えられます。今まで、「学費の面でちょっと」と躊躇（ちゆちゆ）していた受験生も、積

極的に私立高校を受験・進学していると推測されます。

公立高校と私立高校進学者以外の状況を見れば、ここ数年過去最高比率を更新していた「私立通信制高校」進学率が、今春は5・40％に上昇。公立の通信制と合わせると、合計値は99・94％。中学卒業生の16人に1人以上は、通信制高校に進学するという状況になっています。

このほか、県外高校への進学率が過去最高値になっていることも分かります。県外高校には、その高校独自の魅力があることが否定しませんが、長野県の高校も着実に生徒の個性を伸ばしています。しっかりと特色を調べ

てみましょう。

県立高校への進学率が年々下がっているわけですが、表Ⅱには課程・学科別の充足率推移を示しました。充足率とは募集定員に対する入学者の割合のこと。たとえば、募集定員100人で入学者が90人なら、充足率は90％になります。

最も入学生の多い「普通科」の充足率は91・3％ですが、これは過去最低値になっています。その要因の一つとして、中山間地にある高校の充足率の低さがあります。

他の学科を見れば、職業科では「農業科」の充足率が最低値になっています。また、以前は90％台の後半にあった「工業科」ですが、今春は88・8％。この10年で2番目に低い値になっています。このほか、「特色学科」と「総合学科」の充足率も最低値になっています。いずれも高校により人気の格差が大きく、充足率が低下したと推測されます。このほか、「定時制」も最低値になっています。

表Ⅰ 中学校卒業後の進路状況

進路		29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
全日制公立高校	実数(人)	15,389	14,893	14,470	13,818	13,278	13,390	13,197	12,776	12,140	11,714
	割合(%)	74.15	73.59	73.71	72.43	71.53	71.11	70.76	69.94	69.13	66.61
県立定時制高校	実数(人)	582	569	560	559	472	524	480	506	457	400
	割合(%)	2.80	2.81	2.85	2.93	2.54	2.78	2.57	2.77	2.60	2.27
私立高校	実数(人)	3,601	3,578	3,390	3,404	3,425	3,385	3,388	3,215	3,270	3,658
	割合(%)	17.35	17.68	17.27	17.84	18.45	17.98	18.17	17.60	18.62	20.80
県外高校	実数(人)	423	432	398	429	380	372	416	434	426	485
	割合(%)	2.04	2.13	2.03	2.25	2.05	1.98	2.23	2.38	2.43	2.76
特別支援学校高等部	実数(人)	198	166	181	158	178	174	150	191	162	176
	割合(%)	0.95	0.82	0.92	0.83	0.96	0.92	0.80	1.05	0.92	1.00
公立通信制高校	実数(人)	34	54	42	57	87	75	82	96	116	95
	割合(%)	0.16	0.27	0.21	0.30	0.47	0.40	0.44	0.53	0.66	0.54
私立通信制高校	実数(人)	347	376	435	503	559	669	789	957	874	954
	割合(%)	1.67	1.86	2.22	2.64	3.01	3.55	4.23	5.24	4.98	5.40
その他進学	実数(人)	130	130	152	161	160	162	178	172	189	187
	割合(%)	0.63	0.64	0.77	0.84	0.86	0.86	0.95	0.94	1.08	1.06
浪人	実数(人)	8	3	5	4	4	2	1	9	6	3
	割合(%)	0.04	0.01	0.03	0.02	0.02	0.01	0.01	0.05	0.03	0.02
就職	実数(人)	23	19	22	17	11	17	9	15	24	12
	割合(%)	0.11	0.09	0.11	0.09	0.06	0.09	0.05	0.08	0.14	0.07
その他	実数(人)	118	117	103	121	102	99	123	121	110	108
	割合(%)	0.57	0.58	0.52	0.63	0.55	0.53	0.66	0.66	0.63	0.61

※「その他進学」とは専門・各種学校、海外留学、中等教育学校後期課程進学者  
※「その他」とは家居・バイト等

表Ⅱ 公私立別・課程別・学科別の充足率推移

	公立全日制								公立定時制		私立高校
	普通科	農業科	工業科	商業科	家庭科	特色学科	総合学科	全日制計	定時制	公立計	
29年度	97.2	97.6	97.6	97.3	100.6	97.0	98.6	97.4	52.0	94.4	98.3
30年度	96.6	94.8	98.8	96.3	98.8	98.4	98.8	96.9	50.8	93.8	99.1
31年度	97.8	96.4	96.3	99.9	95.0	96.5	95.6	97.5	50.0	94.2	95.1
2年度	96.6	95.7	93.5	97.4	89.4	94.9	97.7	96.2	49.9	92.9	96.7
3年度	96.0	92.7	93.8	91.5	90.6	94.4	93.0	94.8	42.1	90.9	98.0
4年度	96.0	95.1	93.4	93.2	95.6	88.8	91.7	94.8	46.8	91.3	96.7
5年度	95.6	94.4	87.0	97.8	95.6	92.6	92.9	94.5	42.9	90.7	96.9
6年度	94.5	93.1	91.6	88.9	90.6	89.6	89.3	93.1	45.2	89.5	93.3
7年度	94.0	94.7	91.3	96.5	86.9	87.2	84.6	92.8	40.8	88.7	95.8
8年度	91.3	92.2	88.8	92.0	88.1	85.7	84.5	90.4	35.7	86.0	107.6

※表中の白抜きは平成29年度以降の最低値、網掛けは最高値を示す

# 高校入試トピックス

このページでは、6月10日に発表された公立高校入試の最新情報をまとめてお伝えします。

## 1. 令和8年度「学力検査の結果」について

今年2月9日と3月10日に実施され、現在の高校1年生が受検した学力検査の平均点などが公表されました。

### (1) 前期選抜

全県で5,463人が受検して、下表の通り、前年の学力検査(現在の高校2年生が受検)よりも検査Ⅰ・Ⅱともにわずかに平均点が下がりました。基本問題が中心なので、200点満点の人も173人[7年度は178人]いました。

	検査Ⅰ(国語・社会・英語)	検査Ⅱ(数学・理科)
7年度平均点(A)	93.98点/120点満点	59.48点/80点満点
8年度平均点(B)	91.44点/120点満点	58.43点/80点満点
得点差(B-A)	-2.54点	-1.05点

### (2) 後期選抜

全県で7,918人が受検して、下表の通り、前年の学力検査よりも社会の平均点が15点近く下がって、5教科合計では14点近く低い約288点となりました。

	国語	数学	社会	理科	英語	合計
7年度平均点(A)	59.54点	58.45点	70.04点	54.36点	59.23点	301.62点
8年度平均点(B)	65.87点	52.72点	55.45点	59.05点	54.92点	288.01点
得点差(B-A)	+6.33点	-5.73点	-14.59点	+4.69点	-4.31点	-13.61点
100点の人数	5人	9人	1人	26人	36人	—

特に英語については、後期選抜の当日に実施される最後の教科となるので、その得点が可否に影響することもあり得ます。最後の教科まで集中して実力を発揮できるように、各教科の苦手領域を夏休み明けまでに克服しておきましょう。

## 2. 令和9年度の「入学者選抜における学校別実施予定概要」について

各高校の入学者選抜について、課される内容が発表されました。下の表は、一部抜粋です。

令和9年度 公立高校入学者選抜日程

選抜	内容	日時・期間
前期	選抜実施日	令和9年2月8日(月)
	入学予定者の発表	2月17日(水)
後期	志望変更受付期間	3月1日(月)~3日(水)
	選抜実施日	3月9日(火)
	入学予定者の発表	3月18日(木)

高校入試の情報については、右下のQRコードから見ることができます。

### 〈表の見方〉

- ①「募集学級数」欄は、令和8年度の募集学級。
- ②「面接」欄の○は「対面による面接」、△は「紙上面接」。
- ③「第2志望」欄に○がついている学科間においては相互に第2志望を認める。(第3志望まで認める高校もある。)
- ④ ↓はくくり募集をする学科。



学校別実施予定などの入試情報

### 1 全日制課程

学区	番号	高校名	学 科	募集学級数	前期選抜(自己推薦型選抜)					後期選抜(一般選抜)					再募集(第2次募集)						
					志願理由書(PR文)	面接	学力検査	作文(小論文)	実技検査	志願理由書(PR文)	面接	作文(小論文)	実技検査	傾斜配点	第2志望	志願理由書(PR文)	面接	作文(小論文)	実技検査	傾斜配点	第2志望
1	3	飯 山	普通	2	○	○	○				△				○		○			○	
			自然科学探究	2	○	○	○								○		○			○	
			人文科学探究		○	○	○									○		○		○	
			スポーツ科学		1	○	○	○		○	○	○					○		○		
	4	下高井農林	農業	地域創造農学	2	○	○	○								○					
	5	中野立志館	総合		4	○	○	○								○					
	7	中野西	普通		4	○	○	○								○					
	9	須坂東	普通		3	○	○	○								○					
	10	須坂	普通		6											○					
	11	須坂創成	農業	食料生産環境創造	※3	○	○	○								○		○			
				工業	創造工学	1	○	○	○									○		○	
			商業	商業	2	○	○	○									○		○		
12	北 部	普通		2	○	○	○								○						

## 3. 令和9年度の「高校の学科改編」について

須坂創成高校では、令和11年度の須坂新校への再編も見すえ、より幅広い産業人の育成を目指すため、農業科の改編を行うことが発表されました。(上の表の※印の部分)

### 須坂創成高等学校 農業科

#### 【改編前】

大学科	小学科	コース
農業科	園芸農学科	果樹コース
		野菜・花きコース 作物コース
	食品科学科	微生物バイオコース 食品製造コース
環境造園科	緑地計画コース 造園技術コース	



#### 【改編後】

大学科	小学科	コース
農業科	食料生産科(仮称)	フルーツコース アグリテックコース フードマネジメントコース
	環境創造科(仮称)	ガーデンデザインコース ランドスケープコース

これらの学科を志望する人は、学科・コースなどの特色などを調べ、今後の情報にも注目していきましょう。

# ちょっと一息 ざっがく パラダイス

## 国語



### 日本語の雨の 呼び名の一部を紹介!

#### ① 季節(季語)

- 春 春雨：しとしとと静かに降る春の雨。  
菜種梅雨：菜の花の咲く頃に続く長雨。  
花時雨：桜の時期に降るにわか雨。
- 夏 梅雨：初夏の長雨。  
五月雨：旧暦5月頃(現在の6月ごろ)の長雨。  
夕立：夏の激しいにわか雨。  
驟雨：急に降ってすぐやむ強い雨。
- 秋 秋雨：秋に降るしっとりした雨。秋霖：秋の長雨。  
時雨：秋から初冬にかけて降る通り雨。
- 冬 寒雨：冬の冷たい雨。氷雨：氷のように冷たい雨。

#### ② 降り方

- 霧雨：霧のように細かな水滴が浮遊するように降る弱い雨。
- 糠雨：糠のように非常に細かい雨。霧雨よりも少し粒を感じる雨。
- 小糠雨：糠雨をさらに上品に、静かに表現した言葉。
- 篠突く雨：細い竹を束ねて突き立てるような、激しく降る大雨。
- 遣らずの雨：帰ろうとする人を引き止めるかのように降り出す雨。

#### ③ 色や光を感じる情緒的な雨

- 白雨：明るい空から降る、白く煙るような激しい夕立。
  - 紅雨：春、花(特に赤い花)に降り注ぐ雨。または、散る花びらを雨に見立てた言葉。
  - 緑雨：新緑の季節に降る雨。
  - 黒雨：空が暗雲に覆われ、あたりを暗くして降る不気味な雨。
  - 狐の嫁入り：晴れているのに雨が降る「天気雨」のこと。
- ※雨の日には、どの名前に当てはまりそうか考えてみてください。

(小金澤 真一・長聖ゼミ)

## 数学



### 生成AIは どのようにしゃべっているの?

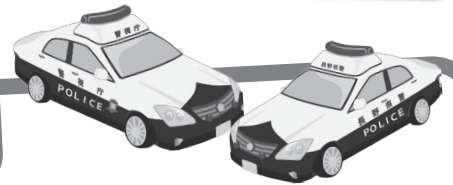
今や様々な場面で活用されている生成AI。まるで人と会話しているような文を作ることができるので、国語が得意な物知り博士が考えて答えているような気がしますが…実はこれ「数学」でできているんです。

AIは人の言葉をそのまま理解しているわけではありません。とても簡単に書くと、1つ1つの言葉にその言葉の特徴を表すいくつかの数値の組(ベクトル)が割り当てられており、言葉の近さをグラフ上の「距離」として計算することで意味を処理しています。さらに、返事をするときには「確率」を使っています。膨大な学習データとともに、次に続く可能性の高そうな語句を、ものすごいスピードで予測してつなげているのです。だからこそときどき、ハルシネーションと呼ばれる、事実と異なるものもらしい嘘を答えてしまうことがあります。仕組みを知って注意しながら活用しないとイケませんね。

中学校や高校で習う数学の内容ですが、その計算をひたすら繰り返すことで人と会話できるなんて、すごいと思いませんか? みなさんが学んでいる算数や数学が、次の世界を変える技術をつくるための、強力な鍵になるかもしれません。

(加藤 俊・ゼミナール松本駅前校)

## 社会



### 長野は長野県警、東京は東京都警?

今日、6月17日はおまわりさんの日です。1874年に日本初の巡査制度が導入され、警察官という職業が誕生しました。さて、みなさんは昨年長野県を舞台とした探偵アニメの映画は見たか? そこに登場する刑事さんは、長野県警(長野県警察本部)の所属です。各県には、「〇〇(県名)警察本部」があり、日々、私たちの安全を守ってくれています。各県にある警察本部の名前ですが、実は一つだけ名称の異なる都道府県があります。それが東京都です。警察庁と警視庁という言葉聞いたことがありますか?

この警視庁というのが、東京の警察本部にあたります。東京だけ名前が異なるのは、明治時代に設置された際の名残だと言われていました。一方、警察庁は1954年に設置されました。現場で捜査をするのではなく、各都道府県の警察を管理し、警察という組織そのものの運営をしている機関になります。

東京が舞台の刑事ドラマなどでは、警視庁、警察庁という言葉が出てくることがあるので、組織の違いを知ると、よりドラマがわかりやすくなるかもしれません。

(山縣 侑也・ゼミナール長野駅東口校)

中3生  
対象

# 夏の高校 入試説明会

先輩たちは何点  
とってたの？

今のままで  
志望校に  
合格できる？

特典あり

イベント参加で  
夏期講習申込金

2,000円が  
**無料!**

夏期講習  
特設ページ



## 「今」,受験生に伝えたいこと をすべてお話しします!

参加  
無料

部活動が終わって受験モードに切り替えなければならない「今」,受験生に伝えたいことをわかりやすくお話しします! 詳細は各ゼミナールにお問い合わせいただくか,夏期講習特設ページのイベントページをご覧ください。

- 内容 ① 長野県高校入試の概要 ~問題分析や合格ラインについて~  
 ② 夏からの学習方法 ~志望校合格を勝ち取る勉強法~  
 ※ゼミナール各校舎または特設会場で開催します。



中3生  
対象

# 長野県高校入試学力テスト

## 夏休みの勉強の羅針盤! 受験生としてスタートするきっかけに



部活から  
受験勉強へ  
切り替えよう!

第2回 **6/28** (日)  
〈申し込みは6/24〆切〉

- 第3回 **9 / 6** (日) 第6回 **12 / 6** (日)  
 第4回 **10 / 4** (日) 第7回 **1 / 10** (日)  
 第5回 **11 / 1** (日) 第8回 **2 / 7** (日)

- 教科 入試5教科(国・数・社・理・英)
- 会場 信学会ゼミナール各校舎と特設会場(飯山,伊那,駒ヶ根,飯田,大町)
- 時間 9:15~15:10
- 受験料 1回券 4,700円  
回数券 30,800円(7回連続)  
※割引対象者は30,200円
- 申し込み Webで受付

中1・2生対象

## 学力確認テスト

第1回 **6/28** (日)  
〈申し込みは6/24〆切〉

第2回 **11/29** (日) 第3回 **2/7** (日)

各学期までの学習内容の  
総復習と実力診断に。  
高校受験へのステップに。

- 教科 国語・数学・英語※Web成績表になります。
- 時間 集合15:40 終了18:30
- 会場 信学会ゼミナール各校
- 受験料 〇1回券 3,300円 〇3回券 9,600円

◎インターネットで,事前にお申し込みください。(クレジットカード決済) ※窓口受付は行いません。

- 中野校 ●須坂駅前校 ●長野北本校 ●県庁前校 ●長野駅東口校
- 屋代駅前校 ●個てつ塾戸倉校 ●上田駅前校 ●小諸校 ●岩村田駅前校
- イオン豊科校 ●松本駅前校 ●南松本校 ●塩尻えんぱーく前校 ●茅野駅前校
- 稲里校 ●篠ノ井駅前校
- 中込駅前校 ●穂高校

夢中に、出会おう。  
**信学会**

テストの詳細と申し込みはコチラ

☎ 0120-29-5588



信州での子育て、  
学びを応援する  
アプリマガジン。

まなびの庭